



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年2月8日

上場会社名 ポート株式会社 上場取引所 東・福  
 コード番号 7047 URL https://www.theport.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 春日 博文  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 丸山 侑佑 (TEL) 03-5937-6466  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・金融機関向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第3四半期の業績 (2018年4月1日~2018年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	2,062	—	325	—	314	—	260	—
2018年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年3月期第3四半期	24	18	22	82
2018年3月期第3四半期	—	—	—	—

- (注) 1. 当社は、2018年9月3日開催の取締役会決議により、2018年9月4日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
2. 当社は、2018年3月期第3四半期において四半期財務諸表を作成していないため、2018年3月期第3四半期の数値及び2019年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
3. 2019年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社株式が2018年12月21日に東京証券取引所マザーズ及び福岡証券取引所Q-Boardへ上場したため、新規上場日から当第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	2,867	—	1,802	—	62.9	—
2018年3月期	1,291	—	520	—	40.3	—

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 1,802百万円 2018年3月期 520百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,825	46.3	560	—	551	—	468	—	42.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2018年9月3日開催の取締役会決議により、2018年9月4日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### ※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年3月期3Q	11,477,150株	2018年3月期	6,975,000株
2019年3月期3Q	—株	2018年3月期	—株
2019年3月期3Q	10,757,150株	2018年3月期3Q	—株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）当社は、2018年9月4日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

当第3四半期会計期間より、日付の表示方法を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境におけるの改善がみられ、穏やかな景気回復基調がみられるものの、米国における保護主義的な通商政策における各国間摩擦等、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。

そのような環境の下、当社においては、「世界中に、アタリマエとシアワセを。」というコーポレート・ミッションのもと、インターネットメディア事業を推進しております。当社の提供しているサービスである、採用コンサルティングサービス、キャリア系メディア「キャリアパーク!」「就活の未来」を初め、ファイナンス系メディア「マネット」等の主要インターネットメディアの収益化を全社的に取り組んだ結果、売上が堅調に推移し、利益化に大きく貢献いたしました。その他、メディカル領域等についても収益基盤の確立に向け着手しており、順次、サービス提供を始めております。

こうした取り組みの結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,062百万円、営業利益は325百万円、経常利益は314百万円、四半期純利益は260百万円となりました。

なお、当社は前第3四半期累計期間について四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

また、当社の事業セグメントはインターネットメディア事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は2,867百万円(前事業年度末比1,575百万円増加)となりました。これは主に、現金及び預金が1,700百万円増加、受取手形及び売掛金が134百万円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は1,064百万円(前事業年度末比294百万円増加)となりました。これは主に、短期借入金が245百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,802百万円(前事業年度末比1,281百万円増加)となりました。これは主に、有償一般募集増資に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ510百万円増加したこと及び四半期純利益260百万円の計上によるものであります。

なお、当社は2018年6月28日付で、会社法第448条第1項の規定に基づき資本準備金を137百万円減少し、その他資本剰余金に振替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を137百万円減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。

これらの結果、自己資本比率は、62.9%(前事業年度末は40.3%)となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年12月21日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	631	2,332
受取手形及び売掛金	481	346
その他	68	75
流動資産合計	1,180	2,754
固定資産		
有形固定資産	23	24
無形固定資産	30	24
投資その他の資産	56	54
固定資産合計	111	104
繰延資産	—	8
資産合計	1,291	2,867
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	52	41
短期借入金	—	245
1年内返済予定の長期借入金	140	172
未払法人税等	6	66
返金引当金	—	34
その他	416	393
流動負債合計	616	954
固定負債		
長期借入金	126	83
資産除去債務	25	25
その他	1	1
固定負債合計	154	110
負債合計	770	1,064
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	290	800
資本剰余金	368	741
利益剰余金	△137	260
株主資本合計	520	1,802
純資産合計	520	1,802
負債純資産合計	1,291	2,867

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	2,062
売上原価	418
売上総利益	1,644
販売費及び一般管理費	1,318
営業利益	325
営業外収益	
助成金収入	8
その他	0
営業外収益合計	9
営業外費用	
支払利息	5
株式公開費用	11
その他	3
営業外費用合計	19
経常利益	314
税引前四半期純利益	314
法人税、住民税及び事業税	54
法人税等調整額	△0
法人税等合計	54
四半期純利益	260

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年6月28日付で、会社法第448条第1項の規定に基づき資本準備金を137百万円減少し、その他資本剰余金に振替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を137百万円減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。

また、当社は2018年12月21日付で東京証券取引所マザーズ及び福岡証券取引所Q-B o a r dに上場し、2018年12月20日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による増資により、発行済株式総数が750,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ510百万円増加しております。

これらの結果、当第3四半期累計期間において資本金が800百万円、資本剰余金が741百万円となっております。